

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表:令和6年1月22日

事業所:PARKふたばっこ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			活動スペースに加え、個別に活動できる場所も確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準、加配職員の配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			バリアフリーに対応しており、車いすの方も利用可能。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月の職員ミーティング内でPDCAサイクルの確認を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページ上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		法人内で順次行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修に加え、法人全体での職員研修や法人内の児童事業所が集まって集合研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートを活用し、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人内の児童支援に特化した共通アセスメントシートを活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童の発達に応じたプログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			研修参加や法人内のメニューバンクの活用などを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動スケジュールで予定を決めて支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別プログラムや小集団プログラムを計画し、実行している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝、昼で役割分担や支援内容について確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			PDCAサイクルをもとに振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			電子記録システムに記録し、職員間でも情報共有ができるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回モニタリングを実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が主に参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			毎日の送迎時や各家庭のやりとりを行い、密な連携を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療ケア児の受け入れは行っていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所を通じて連携している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者の同意を得た上で情報共有を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		関わる機会は少ないが、公共の場への外出先で関わりをもつことがある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			電子記録システムにて日々の活動の様子を家族に見て頂いたり、送迎時に保護者とのやりとりを行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			適宜、相談を受付ており、必要に応じて、関係機関を交えての解決に努めている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今年度は保護者会実施なし。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決窓口を設定し、意見や苦情を伝えやすい関係性となるよう努めている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			電子記録システムでお子さんの様子を見て頂けるようにしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報取り扱いについて、同意を得ている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児童やご家族に合わせたツールを活用している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ感染症により実施していない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員へのみ周知。保護者へは、契約時に周知を行っている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回以上は、避難訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月、虐待に関する振り返りを実施している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			基本的に身体拘束は行わない。行動制限の可能性があれば、組織的に決定し、保護者への説明を行い、計画的に記載する流れとなる。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			受入時、半年に1回のモニタリングにて状況を確認している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットアプリを活用し共有している。